

□議員名：伊場 勇

1 市職員の人事管理・人材育成について

| | |
|----|---|
| 論点 | 平成 21 年に策定された人材育成基本方針に沿った取組みと、市職員の評価シート目標達成シートの今後の進め方はどうか。 |
| 回答 | 9 年前の方針であるが目指すべき職員像を具体的に示していると考え、今後もこれに沿って取組んでいき、必要な研修を精査し、方針について改めて職員に対して周知の徹底を図っていき、各管理シートについては、平成 28 年からの試みでまだ具体的な成果は感じていないが、組織的に一つ一つ行う事で各部署での職員の成長につながると確信している。 |

| | |
|----|--|
| 論点 | 市職員に地域おこし協力隊を採用するなど意識向上を図るための新しい風を取入れることについての考えはどうか。 |
| 回答 | 本市はまず組織として適正な人員配置をし、目標達成に向けて進んでおり、他団体からの採用は検討しているが、今回は県の職員を受け入れ地域振興部に配属し効果を期待している。 |

| | |
|----|---|
| 論点 | 行政とそれに携わる職員のあり方についての考えはどうか。 |
| 回答 | 行政はサービス産業の最たるものであり、そこに携わる職員を財産と考え、あらゆるツールを使って市民の要望に応える職員を育てていきたいと考える。 |

2 安心安全なまちづくりについて

| | |
|----|--|
| 論点 | 減災への取り組みはどうか。 |
| 回答 | 自治会や各種団体等を対象とした出前講座において「災害時の自助・共助」というテーマを設け、住民一人一人が、自助・共助の重要性を意識して、災害に対応できるための啓発に取り組んでいるほか、地区や自治会での防災訓練においても、例えば防災グッズの展示をしたり、広報紙やホームページにお知らせを掲載するなど、あらゆる機会を活用し、啓発活動に努めている。 |

| | |
|----|---|
| 論点 | 災害時支援協定についての考えはどうか。 |
| 回答 | 現在、全てで39の協定を締結しており、今後さらにこれを増やしていくこととしているが、増やせば良いというわけではなく、応援協定の内容については様々な分野があり、先般協定を締結した運輸部門や燃料部門など、物資の供給についても、複数の事業所と締結をすることで、充実をしてきているので様々なケースを想定して進めるべきものと考えている。 |

| | |
|----|---|
| 論点 | 学生消防団の位置づけと活動内容の考えはどうか。 |
| 回答 | 消防団の入団後に団本部に配属をし、団本部員として、災害現場での救助活動や救出活動のない、機能別団員という位置づけでお願いをしたいと考えており、平常時の活動としては、水火災、その他災害の予防、広報活動、救命講習・防災訓練への参加、消防出初め式・消防操法大会等の行事参加などがあるが、万が一、地震等の大規模災害が発生した場合の活動としては、避難所運営の補助、救援活動、救援物資の配給活動、避難者の応急手当等々、をお願いしたい。 |

| | |
|----|---|
| 論点 | 学生消防団に期待するものは何か。 |
| 回答 | 今後、さらに地域防災の裾野を広げることが重要になる中で学生消防団員の確保は、学生自身の防災意識の高揚だけではなく、その若さと行動力による避難所運営等の後方支援が加わることで、地域の防災力、これがさらに向上していくものと期待をしている。 |